

# はいかい 松平文庫にみる大名の俳諧

## 講演会のご案内

文化面での島原の宝といえる松平文庫。旧藩主松平家に伝わる数多くの和漢の書籍が残されています。その中には、原本が失われ、松平文庫の写本が国内最古といわれるものもあり、多くの研究者がひんぱんに訪れています。

今回、江戸時代の文芸を調査されている井上敏幸先生をむかえ、講演会を企画しました。私たち市民に、具体的にその貴重な松平文庫の内容がどのようなものか、その一端をお話していただきます。

江戸時代、俳諧は庶民だけでなく、お殿様たちもたしなんでいました。各地に残る資料には殿様たちが詠んだ俳諧の資料が伝えられており、俳諧の集まりを作っていたことも分かってきました。松平文庫にも松平の殿様たちが残した俳諧が伝えられており、この俳諧を通して遠くは信州松代の真田家と交流があったことを教えてくれます。

島原市民の貴重な財産である松平文庫、その新たな魅力に触れてみませんか。

**日時** 平成19年7月28日(土) 午後2時～

**場所** 森岳公民館大ホール

**入場料** 無料

**講師** 井上 敏幸 先生(佐賀大学文化教育学部教授)



松平文庫収蔵庫

どなたでも  
お気軽に  
ご参加ください!